

市民と議会を結ぶ架け橋

No.64

令和3年  
2月発行

# 議会だより

## 上野原市

### 12月定例会



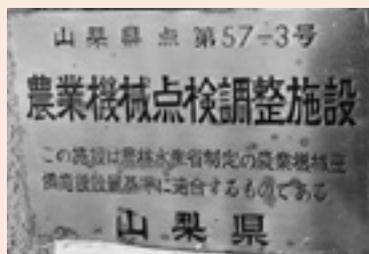
特集

うえのはらで頑張る人  
やまろく農機具店

うえのはらで頑張る人……………	2
新年のあいさつ……………	4
開会中の審査……………	5
定例会で決まった主なこと…	6
一般質問……………	9
閉会中の委員会の活動……	13
市民の声……………	16



## うえのはらで頑張る人 Vol.17 やまろく農機具店



農業機械が壊れた時に、お世話になった方も多いのではないのでしょうか。とても頼りになる「やまろく農機具店」、店主の小山英晴さんを訪ねました。

困っているお客さんが  
喜んでくれることが一番

### 農機具店を経営されたのは

■ 父親が1954年に農機具店を創業して地域に密着した経営を行って来ました。私が高校卒業時に父が急逝した為に18才でしたがそのまま家業を引継ぎ2代目として今日に到っています。

■ 耕運機や刈り払い機等の販売と修理を行っています。特に修理では古い型式の農機具にも対応できるように昔からの部品も取り揃えています。修理は持ち込みが主ですが、依頼があれば出張修理もしています。お客さんからは、まだまだ



「辞めないでくれ」との要望も強く有難いと思っています。困っています。お客さんが喜んでくれる事が一番です。

## 苦労されていることは

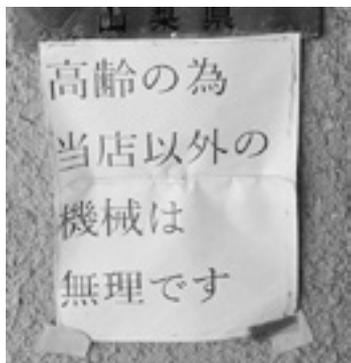


■ 高校が工業系でしたから機械関係の基礎は出ていましたので、仕事には困らなかつたのですが、農機具の改良等、改善の進歩が速く常に勉強していないと仕事が滞るので新しいシステムの習得に努めています。

## サービスエリアは

■ 昔は遠い所では奥多摩町や小菅村まで修理に出かけていましたが、今は遠くても相模湖、鳥沢辺りまでで、市内が主体です。常連のお客様は300人ほどです。

■ 農家も高齢化が進んでいることと、若い人が農業をしなくなっていることもあり、昔の十分の一ぐらいに減少しているのではないかと感じています。



## お客様の声は

■ 本町にお住いのYさんは、3年前の畑デビューの折り小型の耕運機を購入したが、機械操作は勿論のこと、現場（畑）で耕し方まで教えてもらい直ぐに農作業が始められましたと喜んでいました。



## 将来のことは



■ 「お客さんからの辞めないでくれ」の声もありますので、自分自身の体力も考えて仕事をしています。重量のある大型農機具などの扱いは知人に依頼しています。年を考えながらも体力の続く限り、多少の赤字

でも出来る事はして行きたいと思っています。

これから同業者が出てくれば仕事を任せて行けるので、次の新しい担い手が現れるのを待っています。

## 行政や議会に対して



■ 鳥獣対策などは、自然に任せるのが理想では。

■ 移住などへの呼びかけに、「セカンドハウスを作って農業できますよ」と言うような受入対策をしたらどうでしょうか。

## 取材を終えて

農業従事者にとって耕作の為の農機具は必需品であり、その保守や点検、修理は欠かせずその対応ができるお店は無くてはなりません。古い機械でも修理できるようにとたくさんプラグやベルトを備えていました。「お客様の為に」懸命に頑張っている現状を伺い知ることが出来ました。

新年のあいさつ



議長 川島 秀夫

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年は、中国武漢で発生した新型コロナウイルスの急激な感染拡大（パンデミック）で世界を震撼とさせました。私達の日常も、小中学校等の休校、高校野球やプロスポーツ界、諸イベントも延期や中止。4月には、新型コロナウイルス感染者急増に対処するため、緊急事態宣言が発せられ経済活動を含め、全ての分野の動きが止まりました。企業では、在宅勤務を積極的に取り入れ、働き方が大きく変わりました。感染拡大防止のため、市では議会提案を含め数々の対策（防止や支援）を実施し、感染拡大を最小限に止めてきました。

迎えた新年も、勢いの衰えが見えない新型コロナウイルス感染症との闘いが続きます。

今年も、少子高齢化と人口減少が進行している現在、魅力的な活力有るまちづくり、議会一丸となり議員間討議を重ね、引き続き市政発展に寄与する行動に取り組む覚悟であります。

今年の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



内田倫弘



八木一雄



山口 薫



白鳥純雄



遠藤美智子



川田好博



東山洋昭



小俣 修



杉本公文



山口好昭



長田喜巳夫



杉本友栄



尾形幸召



岡部幸喜



尾形重寅

## 総務産業常任委員会

委員長 昭 洋  
委員 山 長  
副委員長 口 薫  
委員 山 口  
委員 白 純  
委員 小 鳥  
委員 杉 侯  
委員 杉 本  
委員 岡 本  
委員 尾 部  
委員 形 重

11月30日、委員会を開催し、付託された案件、条例制定5件と契約締結1件について審査しました。

主な質疑・答弁を要約してお伝えします。「議案第131号 上野原市選挙公報の発行に関する条例の一部を改正する条例制定について」は、令和元年5月の公職選挙法の改正に伴い、市においても条例の改正を行うものです。

「議案第132号 上野原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について」

**Q** この改正後の税収減少の可能性は。

**A** 該当者は改正前と改正後で変わらないため、金額の変更はありません。

「議案第134号 上野原市消防団条例の一部を改正する条例制定について」は、消防団員の定数を実情に合わせた878



名に改め、また団員の処遇改善を図るため、分団長等の報酬支給額を増額するものです。

**Q** 改正に伴い車両や資機材等の配置はどうなるのか。また新入団員の加入状況は。

**A** 配置については関係機関と課題の抽出と検討を行っています。新入団員の確保については依然厳しい状況です。

以上、当局提出の6案件について採決した結果、いずれも全会一致で、原案どおり可決すべきものと決定しました。

## 文教厚生常任委員会

委員長 智子 美  
委員 長 一 雄  
副委員長 木 弘  
委員 八 倫  
委員 内 田 博  
委員 川 好  
委員 川 島 秀  
委員 山 口 昭  
委員 長 田 喜  
委員 尾 形 幸 召

本定例会において付託案件がありませんでしたので、所管事務調査と次回の閉会中の調査事項についての話し合いを、11月30日に委員7名の出席のもとに行いました。

始めに、所管事務調査として生活環境課から「ごみの減量化について」説明を受けました。

市では平成29年に「上野原市ごみ対策協議会」を設置して以降、ごみ問題について協議を重ねてきました。当市の現状としては、人口減少の割にごみの減量が進んでおらず、一人当たりの家庭ごみの排出量が全国平均や同規模自治体に比べて多く、施設の老朽化が進んでいるとのことです。

また、ごみ袋の有料化等に関するアンケート調査結果の説明については、再度、詳細な説明を受ける必要があり、後日、委員会を開催することに決定しま



した。次に、次回の閉会中の視察の内容について話し合いました。今まで出された意見を参考に、コロナの状況等を勘案した結果、感染症対策を十分に講じる中で「学童保育の運営状況について」調査する必要があるとの意見で一致し、閉会中の継続調査とすることに決定しました。

# 12月 定例会

## 定例会で決まった 主なこと

令和2年第4回定例会が11月24日から12月9日まで16日間の日程で開かれました。

### 審議された議案

市長提出議案	17件
発議	2件
計	19件

※議案名・議決結果等は8ページをご覧ください。

## 条例改正

### 職員の期末手当0・05月減額

特別職及び一般職の期末手当支給月数を0・05月引き下げると改正しました。この改正に係る条例は、上野原市長、副市長及び教育長の給与などに関する条例・上野原市職員給与条例・上野原市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例です。この条例は令和2年12月1日より施行します。市議会議員の期末手当も同様に支給月数を0・05月引き下げると改正しました。

議案第129号  
発議第2号

上野原市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例制定について  
上野原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について

## 条例制定

### 市の財政状況に鑑み 市長等の期末手当を減額支給



市の財政状況に合わせ、市長、副市長及び教育長の期末手当を令和2年12月1日より0・3月減額して支給する新たな条例制定をします。

議案第130号  
上野原市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例制定について

## 条例改正

### 消防団員、定数を削減 年額報酬を増額



消防団員定数を972人から878人に削減し、消防団の分団長以下の年額報酬が増額されます。

分団長、副分団長及び部長

3千円増額

班長及び団員

4千円増額

議案第134号  
上野原市消防団条例の一部を改正する条例制定について

議案第136号 令和2年度上野原市一般会計補正予算(第5号)

## 正算 補予

総額3億3421万9千円増額補正

主な事業は次の通りです

■ 移住促進対策事業費	551万5千円
■ 移住者住宅取得補助金	
■ 空き家等リフォーム補助金	
■ 支所管理費	291万円
■ 島田出張所設計業務委託等	
■ 自立支援給付費	1718万6千円
■ 感染症予防事業費	1000万円
■ 高齢者PCR検査委託料	
■ 農業用施設維持費	3058万9千円
■ 小規模治山事業工事請負費	792万8千円
■ 井戸地内工事請負費	
■ 河川維持費	7350万円
■ 後山川・井戸川・境川・和見沢川	
■ GIGAスクール構想事業費	918万9千円
■ 図書館運営費	739万8千円
■ 図書館修繕(ブラインド・屋上庭園等)	
■ 現年発生補助災害復旧費	1億764万8千円
■ 市道新井黒田線・市道登下線	
■ ふるさとまちづくり基金費	1500万円
■ ふるさと納税を基金に積立	

議案第131号

上野原市選挙公報の発行に関する条例の一部を改正する条例制定について

## 条例 制定

選挙公報に写真掲載が可能に



公職選挙法の一部改正に伴い、選挙公報の掲載文が「電子データによる提出が可能」になったこと、併せて「候補者の写真も掲載」できることになりました。

発議第3号

上野原市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について

## 発議

常任委員会及び議会運営委員会の任期の特例を設けました

常任委員会と議会運営委員会の委員は、条例で任期が1年と決まっていた。任期が終わらないと改選ができないため、会期の途中で本会議を開き、選任を行わなくてはなりません。

任期終了の30日以内であれば、任期の途中で選任することができるように条例を改正し、定例会の初日に選任できるようにしたものです。

# 令和2年第4回定例会議決結果等一覧表

## ◆賛否のあった議案 (○賛成 ●反対 ◎賛成討論者 ●◎反対討論者)

議案番号	付託委員会	案 件 名	内田倫弘	八木一雄	山口 薫	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	東山洋昭	小俣 修	川島秀夫	杉本公文	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果	
129	—	上野原市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	◎	○	◎	◎	◎	○	欠	○	○	○	○	○	可決

※ 「—」は委員会付託が省略された議案です。

## ◆全会一致の議案

議案番号	付託委員会	案 件 名	審議結果
130	—	上野原市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例制定について	可決
131	総務産業	上野原市選挙公報の発行に関する条例の一部を改正する条例制定について	
132		上野原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	
133		地方税法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	
134		上野原市消防団条例の一部を改正する条例制定について	
135		上野原市火災予防条例の一部を改正する条例制定について	
136	予算特別	令和2年度上野原市一般会計補正予算(第5号)	
137		令和2年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	
138		令和2年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	
139		令和2年度上野原市介護保険特別会計補正予算(第2号)	
140		令和2年度上野原市介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)	
141		令和2年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	
142		令和2年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	
143		令和2年度上野原市島田財産区特別会計補正予算(第2号)	
144	令和2年度上野原市上野原財産区特別会計補正予算(第2号)		
145	総務産業	市道神野栗谷線1災害復旧工事請負変更契約締結について	
発議2	—	上野原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	
発議3	—	上野原市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	

※ 「—」は委員会付託が省略された議案です。



### 発議

議員が議決すべき事項、条例案などを議会に提出することを発議と言います。議員の12分の1以上の賛成で発議することができます。平成11年までは、8分の1以上の賛成が必要でしたが、地方自治法の改正で条件が緩和されました。

ただし、予算を発議することはできません。

# 市政を問う



12月3・4日市政一般に関する質問が行われ、7人の議員が質問に立ちました。

■ 山口 薫議員

- 1 情報通信基盤事業について
- 2 森林資源・水資源を活用した「エネルギーの地産地消」について
- 3 地区防災会（自主防災組織）について

■ 八木一雄議員

- 1 「公会計の管理」について
- 2 「文化財の恒常的展示施設の整備」について
- 3 「今期の歳入見込み」と「令和3年度予算編成方針」について

■ 白鳥純雄議員

- 1 誰もがこのまちで暮らしつづけるために
- 2 快適な生活や暮らしを守るために

■ 東山洋昭議員

- 1 地域住民の市道等の交通安全対策について
- 2 上野原駅南口市営駐車場運営と駐輪場整備について

■ 遠藤美智子議員

- 1 障がい者も住みやすいまちづくり
- 2 災害の備えについて（コロナ禍）
- 3 3歳児健診における弱視早期発見について

■ 杉本公文議員

- 1 コロナウイルス感染症について
- 2 市長の政治姿勢について
- 3 情報通信事業について

■ 川田好博議員

- 1 新型コロナウイルス感染症対策
- 2 情報通信基盤整備事業
- 3 市長の政治姿勢について

質問

UBC未加入世帯は、市全体の58%で、市の行政放送（防災、コロナ対策、行事等）が見られません。又、市からの補助金等も受けていません。全市民が平等に

答弁

森林資源の活用、生産性向上について、森林の管理及び採算性等検討したい。小水力については、今後も環境に配慮した災害時にも有効な電力と考え、実現につなげたいと思います。

質問

当市は人口減少で税収減が心配されます。この対策の一環として、市内の自然資源に付加価値を与え市財源の一部に出来ればと思いません。木材を加工したCLT材の販売やバイオマスの売電、水資源を小水力発電で売電する。これらは非常電源としても有効で、国や県は支援を明言しています。全国に成功例も多く当市も検討してみても如何か。

答弁

NTTのフレッツ光につきましては、現在もサービスエリアの拡大を要請しています。

質問

インターネットの地域格差ですが、旧町とコマア以外の世帯でNTTの光が使えず不便を感じています。どの地区でも平等に使えるようにしない限り、移住・定住、企業誘致等の大きな足かせになると思うが。

答弁

市の行政放送を見られるように出来ないか。全世帯で見えていただきたいのですが、課題も多く、今後の検討の中で、色々な手法を考えて行きたいと思えます。

「持続可能」な上野原のために  
今、最善の対策を



山口 薫



桂川橋の上流

公金の取り扱いと管理について  
 新年度予算編成の策定方針は



八木一雄

**質問** 公金の取り扱いとそのチェック・管理体制は。

**答弁** 地方自治法と市の財務規則に則り取り扱っています。

「公金管理マニュアル」は

ありません。現金を収納する事務は会計課に属し会計課以外で現金を扱う事は出来ません。現金を扱う職員は出納員及び現金収納員として任命され会計責任者を補助する職員としての身分を持って現金取り扱い部署に配置され責任の明確化を図っております。公金管理の厳格化の為、基本事務取り扱いについてマニュアル化を進めます。

**質問** 令和3年度の予算編成に当たって、まず今年度の市民税の歳入見込みは。

**答弁** 12億9千万円、前年より1億5千万円の減収見込みで内訳は、個人市民税で6200万円の減収、法人市民税で9100万円の減収

**質問**

**答弁**

を見込み、特に法人市民税は企業収益の悪化が税収減に顕著に現れています。

**質問** 3年度予算編成の方針は。

**答弁** 令和3年2月に市長選を控えている事から、骨格予算として経常的な経費や継続的に取り組みが進められている事業に係る経費などを盛り込む予算として編成を進めています。政策的判断を有する予算については、来年度の補正予算、その後の本格予算で調整します。予算編成では、事業の優先度や緊急度さらに既存事業での必要性、事業効果など総合的な見地からの検討も踏まえ策定していきます。



誰もがこのまちで  
 暮らしたい



白鳥純雄

**質問** 市内にある、空き店舗を利活用した賑わうまちづくりへの取り組みと、働き方改革やコロナ禍で需要が見込まれる、サテライトオフィ

**答弁** 従来の空き家バンクリフォーム補助制度を見直し、空き店舗も補助対象に加えて、街中の賑わい創出に努めます。また、サテライトオフィス等整備費補助金と、移住者住宅ワーク環境整備補助金の、2つの補助事業を10月より実施しています。

**質問** キヌア特産化に向けての雇用状況と、商品開発、販路拡大への取り組みは。

**答弁** 昨年度から、地域おこし協力隊1名を任用し、今年度は生産農家が2軒増えました。市内の飲食店で市産キヌアを使った味噌の加工販売を行い、YBSテレビの「ててて！TV」で取り上げられ、放送後は多くの問

**質問** 市の道路管理状況と、路線データの管理方法を伺う。

**答弁** 各地区からの要望等は共用ファイルを作成し、担当者が替わってもスムーズに引き継げるようにしてあります。道路台帳システムを運用して整備箇所を毎年更新し、整備状況が分かる様になっています。

**質問** 他に、鳥獣害対策について質問しました。



地域住民が利用する市道等の  
交通安全対策について



東山洋昭

質問

沿道区域指定の意味は。

道路法第44条で道路管理者は、条例で定める基準に従い、沿道区域を指定することができるとしており、指定された区域内で交通障害が発生している支障木の土地所有者等に損害予防義務が生じ、道路管理者（市）の措置命令について定めたものです。

質問

指定の必要性は。

指定された市道と指定されない市道との区分け等で市民の不公平感も出ることも考えられるため、関係者等の理解を得て区域指定を行うということはハードルが高いと考えています。

意見

今まで沿道区域指定が行われなかったため、現在の交通障害等の問題が起こっているとは私は思っています。そして市民の安全が損なわれています。この沿道区域を指定して、法の規定の中



で土地等の管理者は、その土地等が道路の構造に損害を及ぼし、または交通に危険を及ぼし、そして及ぼすおそれがあると認められる場合、その損害または危険を防止するための必要な措置を講じなければならない。そしてこの沿道区域指定は、市で条例を制定することが必須条件である。市内に数多くある道路通行障害になつている樹木またはそれに類似するものの箇所を少しでもなくし、その一助になるのは間違いないと考えます。

障がい者も住みやすいまちづくり



遠藤美智子

質問

上野原市の「精神障害に対応した地域包括ケアシステムの構築」とは。

現在、個々のケースに応じた相談支援・サービス事業所や医療機関、区長、民生委員等と連携し必要な支援に努めているところです。

質問

アンケート調査によると、障がい者の支援をされているご家族の年齢は70歳以上が最も多く34・3%、さらに、代わりに介護を頼める人がいないというのが29・3%です。今、ご家族の切なる心配は、親なき後のこと。市内に障がい者のためのグループホームや短期入所施設の必要性について、当市の考えは。

質問

充実した障がい者福祉を推進するためには、公的なサービスに加えて地域の支え合いが必要不可欠です。地域住民に、障がい者について関心と理解を深めていただくために、住民向けの研修会の開催をはいかがでしょうか。

質問

聴覚や言語に障がいがあり、言葉で意思を伝えることが困難な方に対して、意思疎通を図るコミュニケーション支援ボードの運用を。今後の取り組みを検討してまいります。

質問

昨年より、東部地域を単位とし障害サービス事業者等の医療機関でプロジェクトチームを立ち上げ、地域生活支援拠点の整備に取り組んでいます。

質問

昨年より、東部地域を単位とし障害サービス事業者等の医療機関でプロジェクトチームを立ち上げ、地域生活支援拠点の整備に取り組んでいます。



市長の政治姿勢について  
多選の是非についての見解は



杉本公文

質問

市長は12年前、前市長の多選を強く批判し、自身は、当選しても3選を限度に4選はしないと、市民に約束したが、この公約と多選の弊害への見解を伺う。

答弁

その時の多選は前市長が5選6選をしたからです。多選というよりも、毎回4年ごとの政策が大切で市民の判断を仰ぐ、よって多選も弊害も特に問題はない。

質問

公正・透明性の高い市政を実現するとするが、真逆で隠蔽体質な市政では。

答弁

就任以来、基本姿勢に一貫してブレることなく各種施策に取り組んできた。

質問

ブレなかったと言うが、最大の公約、光ケーブルは真逆に方針転換。これも園裁判では文章の改ざん・隠蔽破棄などの文章管理違反事実が判明している。他、医師会費の公費負担や市有地を安価で違法に売却、鑑定



意見

違法ではないと言うが、議会も監査委員も違法と断定した。故に返還し同額で買い戻したが、過ちが多すぎ。認め謝罪すべきです。

他に、コロナ感染症対策について質問しました。

PCR検査体制強化を



川田好博

質問

PCR検査について、市立病院は5月から発熱外来を設け、玄関でトリアージを実施し、通常の業務より負担が増えているが。

答弁

発熱外来は一日10名を超えるような日もある中で新たに検査を受けてもらう状況です。

質問

感染拡大時には、働かざるを得ない職場に働く人たちのPCR検査が必要になってくる。その時に検査体制の強化が必要と考えるが。

答弁

一層の検査体制の強化については引き続き国や県に要望していくとともに、市でも協力していきます。

質問

5月には国保税滞納者の短期保険証を全て郵送されるという決断をされた。その後の取り扱い。

答弁

年末年始を中心に特例措置として、1月31日までの2か月間有効の短期保険証をすでに発送しました。



## 総務産業常任委員会

委員長 山洋昭  
 副委員長 山口 薫  
 委員 東山 純雄  
 白鳥 修文  
 小俣 公栄  
 杉本 友幸  
 杉本 幸喜  
 岡部 重  
 尾形 重

閉会中の継続調査として、11月5日「市道における狹隘箇所等の問題について」視察を行いました。

まず、隅切りの未実施箇所や樹木が覆い、車両の交通障害や歩行者の安全な通行を妨げている箇所などを現地調査しました。

建設課では、市内の道路には、隅切りや拡幅が困難な箇所が多数あるが、地主や隣接者の同意も必要であり、速やかな改善は難しい状況ですとのことでした。

都市計画区域内で、建築基準法に規定されている道路に該当すれば、セツトバックすることで建築が可能となるため、今後は寄付を前提とした分筆測量費用の補助要綱を作成し、狹隘道路等の解消につなげていきたいとのことでした。

また関連で、消防署より、狹隘道路等における緊急車両の通行の実態等について説明を受け



市の狹隘道路

ました。大型の緊急車両が通れない箇所が発生した場合は、大型の緊急車両と軽ワゴンの緊急車両が同時に出動し、使用資器材や可搬ポンプ等をそれらに積載して、現場近くまで進入し、救急や消火活動に従事しているとのことでした。

当委員会として、道路の隅切りや拡幅については要件が揃ったときは可能な限り迅速に対応することを要望しました。

## 文教厚生常任委員会

委員長 美智子  
 副委員長 藤長 雄  
 委員 八木 弘  
 田倫 博  
 川好 秀  
 川島 昭  
 山口 好  
 山田 喜  
 長田 巳  
 尾形 幸 召

令和2年第3回定例会で議決された閉会中の継続調査として「医療・福祉における情報通信の活用について」と「クリーンセンターの運営状況について」、10月22日に委員6名が、事務局2名、担当職員8名の出席のもと調査を行いました。

始めに、長寿介護課から「医療・福祉における情報通信の活用について」説明を受けました。長寿介護課では、平成28年度からMCS（メディカルケアシステム）というシステムを活用し、医療・介護におけるコミュニケーションの促進を図っています。MCSの活用により、患者単位の多職種チームでの連携が可能になり、タイムリーに情報共有ができるようになりました。現在、市内登録者が215名となり、市内におけるほとんどの在宅医療利用者と介護事業者が活用しているとのことでした。

次に、クリーンセンターへ伺い、「クリーンセンターの運営状況について」生活環境課からの説明を受け、その後、ごみ処理施設・し尿処理施設等、施設内を見学しました。クリーンセンターについては、作業現場の職員の労働環境を把握し改善策を図り、ごみについても、市民への啓発等を図るなど、ごみの減量化・資源化に繋げていくことを要望しました。



インターネットを利用した在宅医療・介護の取組

議会活性化特別委員会

委員長 杉本 友栄  
副委員長 長田喜巳夫  
副委員長 東山 洋昭

市議会の組織としての在り方や議会運営の活性化・効率化及び議会活動の透明性向上の方策を調査・検討するため、議会活性化特別委員会を設置しています。様々な課題が挙げられる中で、議会運営において特に改革が必要と思われる次の五項目を重点的に協議してきました。

- ① 議員全員による委員会での予算決算の審査
- ② 議場でのタブレット導入
- ③ 意見交換会・報告会の開催
- ④ 会議のインターネット配信
- ⑤ 議会基本条例の制定

このうち、予算決算の審査は、既に特別委員会を設置し委員全員で審査を行っています。意見交換会・報告会の開催については、昨年11月に多くの市民参加のもと実施しました。

令和2年に至っては、これらの検討項目の実現に向け、協議を重ねてきたところですが、少

子高齢化の影響を受け、全国的な市議会への立候補者の減少や無投票当選の増加が見受けられ、当市議会においても、議員報酬を含めた議員定数について、検討する必要があるとの多くの意見を受け、併せて検討していくことになりました。

引き続き、市民の皆さんの声が反映され、より活発な議論が行われるよう、これらの審議に取り組んでいきます。



昨年の意見交換会

まちづくり特別委員会

委員長 小俣 修  
副委員長 八木一雄

第一分科会は、「公共交通のあり方について」をテーマに審議をしています。路線バス、デマンドタクシー、スクールバスを含めた地域公共交通を総体として考えることとともに、地域主体の交通手段についても提言してきました。

さらに、「スクールバスの混乗化については生活環境課だけでなく、教育委員会や上野原市地域公共交通活性化協議会を含めた中で検討する」「市内各地域ごとに利用状況等の更なる精査を行い、先を見据えた細かなデータ分析を行うこと」を求めています。

第二分科会は、「経済の活性化と税収（ふるさと納税含む）対策」をテーマに審議をしています。近隣市に比べ「ふるさと納税」の寄附額の少ないことから、早急にぶどう、桃等の県産品の扱いを要望し、返礼品の充

実を図りました。その結果、本年度は3千万円と倍増が見込まれるなど成果が現れています。今後、三つのサブテーマを設けた次の三つの班別に審議することとしています。

- 第1班 「中心商店街」の活性化に向けた対応策
- 第2班 「若者の住みたいまちづくり」
- 第3班 「情報基盤の整備」



ふるさと納税の返礼品ののし紙

議会だより編集常任委員会

委員長 川田好博  
副委員長 白鳥純雄  
委員 内田倫弘  
八木一雄  
山口 薫  
遠藤美智子

● 議会だよりができるまで

7月30日

特集、取材先を決定  
「市民の声」原稿依頼

8月7日

「うえのはらで頑張る人」取材



9月14日

第1回委員会  
割付・担当・日程を決定

10月2日

原稿締め切り

10月5日

第2回委員会  
原稿確認・印刷所に入稿

10月12日

第3回委員会初校



全員で校正作業

10月20日

第4回委員会再校

10月23日

第5回委員会 PDF確認

10月29日

印刷所より搬入仕分け作業



第63号はこんなふうに作りました

募集しています

うえのはらで頑張る人

「うえのはらで頑張る人」は、様々な分野で奮闘している方やグループを取り上げています。委員会で取材に伺います。

これまでの特集

- ・子育て世代のママの気持ち
- ・上野原青年会議所の皆さん
- ・消防団員の皆さん
- ・上野原をきれいにする会
- ・上野原ラージボールクラブ
- ・ボランティアサークル積希
- ・上野原・ハート
- ・上野原高校JRC
- ・食生活改善推進員会
- ・鄙の会（ひなのかい）
- ・七夕ナイトバザール実行委員会
- ・本町お囃子保存会
- ・上野原市スポーツ推進委員
- ・日大明誠高校生徒会
- ・コロナ禍での奮闘！
- ・介護施設の感染症予防対策グループ

市民の声

「市民の声」は市民のみなさんの率直な声を載せていただくコーナーです。

■ 自薦・他薦含めて、ご紹介ください。

連絡先：議会事務局 0554-62-3344(直通)

議会だよりは、事務局職員の援助を受けながら、6名の委員を中心に編集作業をしています。取材、編集、仕分けなどほぼ3か月かかります。年4回発行していますから、年間を通して仕事があります。

# 市民の声



看護学生  
守屋結菜さん

## 今の私にできること

私は大学で看護について学んでいます。本来なら病院にて実習が行われている予定でしたが、コロナの影響を受けて学内実習に切り替わっているという状況です。先生方の全力な指導のもとで日々沢山のことを学ばせて頂いておりましたが、やはり学内で学べることは限界があるように感じます。一年と数ヶ月後には看護師になる予定ですが、本来なら学ぶべきことが学べてないのではという思いがあり、現場で働くことに対して不安な気持ちでいっぱいです。このような状況の中で今私にできることは、学内実習に全力で取り組み出来る限り多くの知識を身につけることと、医療従事者を目指す者の一人として感染予防を徹底することだと思っています。コロナがいつ終息するか分からないからこそ、コロナ禍で働く状況を見据えながら日々学んでいきたいと思っています。

## 3月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
2/21	22	23 天皇誕生日	24	25 本会議(初日) 傍聴可	26 議案調査	27
28	3/1	2 委員会 総務産業文教厚生	3 議案調査 予算特別	4 委員会 議案調査	5 委員会 予算特別	6
7	8	9 委員会 予算特別	10 議案調査 一般質問 傍聴可	11 議案調査	12 一般質問	13
14	15 一般質問(予備日)	16 本会議(最終日) 傍聴可	17	18	19	20 春分の日

## 議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。委員会の傍聴については、委員長の許可が必要です。

## 託児サービスをご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局 (62-3344) へお申し込みください。



議会だよりのQRコードです

## 編集後記

穏やかな年明けに幸多かれと願い、コロナ禍ではありますが新たな一年が始まりました。一年前テレビで見たコロナウイルス感染症の映像は、多くの方が「対岸の火事」と思っていたのではないのでしょうか。生活が一変した現状を想像できたでしょうか。社会が今までとは違う新しいスタイルで動き出す中で、私たち一人一人が変わらなければこの難局を乗り越えられないと感じます。政治も新しく柔軟に判断できる変革が必要に思います。議会だよりも5年前から、市民の皆様の手にとってもらえる、読みやすい紙面を作る努力を重ねています、これからも皆様のご意見をお待ちしています。



議会だより編集常任委員会  
委員長 川田 好博  
副委員長 白鳥 純雄  
委員 内田 倫弘  
委員 八木 一雄  
委員 山口 薫  
委員 遠藤美智子  
(白鳥)